

こんな道場です！

代表 清水 宏通

入門にあたり

ご覧頂きありがとうございます。

私が入門する時に、お子様に提案することは「生きていくためのチカラ」が身に付きますとお伝えしています。

これらは何かを実現する為の能力や技術のことですが、習い事をお探しの皆さんが、お子様に身に付けて欲しいものとは何でしょうか・・・

私共が必要と想うこととは本質的なスキルを身に付けることです。

ここでのスキルとは、専門用語ではポータブルスキルと呼びましょうか・・・
1度身に付けてしまえば、個人の能力として持ち運ぶことが出来るスキルです。
習い事を変えても、学校生活でも社会でも通用する能力です。

その他に習い事により異なる特化したアンポータブルスキル、ここで言えば空手の知識、技術、試合や経験値を指す能力になります。

まず総合スキルであるコミュニケーションスキル、生活マナー、自己表現スキル、プランニングスキル、問題解決スキル、チャレンジスキルなど、いろいろなものが挙げられます。

我々武道には「礼儀」、その中には挨拶や返事、礼を尽くすと言った信頼に繋がるマナー、それが私達の押忍(おす)の精神であり、空手に向き合う姿勢から作り上げられています。

社会に出て活躍するスキルとは、正確な言葉遣いや円滑なコミュニケーション能力であり、「信頼のおける人間だ」と思える社会性のある人の成長ではないでしょうか。

それには正確な言葉使いを身に付けることも大切になってきます。
自己表現や相手の分析力が乏しいと思われるようになって相手にも認めてもらえないかもしれません。

これらの理解力が高ければ、論理的に物事を考えることが出来ることに繋がります。

例えば、信頼がおける人の条件は「時間を守る」「約束を守る」「やると言ったことは必ずやる」と言った基本的なことが出来る人は信頼性が高まるはずで。

先ほどの礼儀の中のしっかりと挨拶をする、しっかりとお礼をする、このような信頼のおけるマナーを稽古で体験し、「自分に足りないものは何か」「自分の直すところはどこか」が見えてくるでしょう。

私は今までいろんな入門者の方々を見てきました。

入門当初は、親御さんもこのように想い入門を決意しました。

しかし、何年か経つと辞めてしまう理由にこれらのポータブルスキルをアンポータブルスキルと置き換えて混同してしまう傾向があります。

具体的には、普段の生活に空手の必要性はあるのか・・・と冷めてしまうのです。

将来的に、道場で長年かけて先輩や友達から「彼は、彼女は信頼できる人間だ」と思われることは学校、社会でそのように思われることと同じくらい大切なことです。

なぜなら、学校や社会ではそのような人に仕事を預けてくれるのです。

習い事を始めようとする気持ちは様々ですが、せつかく始めるならしっかりと人間形成を視野に入れて臨んでみようではありませんか・・・

私共は、入門してくる道場生一人一人にこの気持ちを持ち迎えています。

